残光に溺れて

DROWNING IN WHAT REMAINS OF THE LIGHT

先生×プラナ ✦ Blue Archive unofficial fanbook



presented by

Circle : Kadoya

R-18
ADULT ONLY

失われた日常

断たれた奇跡

もしも私に
心と言えるものが
あるなら

それは
置き去りのまま
なのでしょうか

帰る場所が
変わっても

呼ばれる名が
変わっても——

私がこちらに
来て間もなく

ポン…

この関係は
始まりました

プラナ

そろそろ…

キシ…っ…

はい…

ぐぐぐ

ゆさっ

ゆさっ

あ

ぐぐぐ

は…！

は…！

すり

すり

あ

ぷる…

ギシ…っ…

きゅん

きゅん

ギシ…っ…

くぷっ

くぷっ

ぐぐぐ

どうぞ…

はっ

ぱちゅっ♡

ぱちゅっ♡

あ

このまま…っ

ぱちゅっ♡

ぱちゅっ♡

はっ

ぷにゅ

ずぷっ

ぷにゅ

ずぷっ

ぱちゅっ♡

ぐぐっ

っ…!!

ぐぐぐ

残光に溺れて



ぱくっ…

～～～～…

!!

幸せですっ！

甘美

食べ切るのが勿体無いです

ねっ♪

さすがはティーパーティーのみなさんお墨付きのトライフルです！

気に入ったみたいだね

また持って
くるから
遠慮しないで
わーい！
けどよかったの？
ズズー…
いちごミルクは
いつもので
では遠慮なく
おいしい
スイーツも
好きですけど
こうして
先生と一緒に飲む
イチゴミルクが
とっても甘くて
大好きなんです！

私は先生に
伝えられていた
でしょうか

別に紅茶が苦くて
飲めないとか

そういうのじゃ
ないですよ！

本当に？

私の想い

先生への感情

アロナ先輩
のように

まっすぐ
思うままに

そのままの
想いを

伝えられたら――

プラナちゃん？

もしかして…

プラナちゃんも

先生になでなで
してほしいんですか？

えっ…

別にそういう
わけでは…

先輩…！

わかりますよ～？

けどこの
組み合わせは

さすがに
甘すぎるかも…

先生の手は
気持ちいいです
からね

おおきくて
あたたかくて

さあさあ
恥ずかしがらずに♪

ねっ先生

もちろん

ほら

プラナ

おいで

先生…


ナデナデ…

やっぱり

どきどきするね

ぺく…

教室でするの

先生に――

言わないと

ナカ…

ペロ

…っ

ぺろ

もう
濡れてるね

ーしゅ

そろそろ
入れちゃおうか

ーしゅ…

先生…

うん？

先生に

お伝えしたい
ことが

あります

この時間…

夜のお相手の時間は

私にとって

ただのお仕事以上の意味を感じます

先生が…

私を求めて下さる以上に

私は…

先生の事を…

プラナ

あ…

だめなのに

伝えないと――

私の言葉で

違うよ

プラナ

ほら

舐めて

……

あむ…

れ…

……前から
思って
いたんだけど

ちゅ…

ちゅ…

ちゅ…

プラナは
俺のこと

見てないよね？

っ…

ピリッ…

俺と目が合った時とか

くちっ…

ぷくっ

にちっ…

ぷくっ

手を握る時とか…

ん…

ぷくっ

ふっ…

たぶん

つぷ…

プラナのその気持ちも

俺じゃなくてきっと…

それでも
私は…

…ごめん
今のは
余計だったね

先生…!?

カリ

!?

さっきのは
忘れて

や…

あ…

くりくり

今は一緒に

気持ちよくなる
ことだけ考えよう

ア・ロ・ナ・

なお30

一気に奥まで
挿入ったね

あ…

ぴく…

私は

おなかの
上からでも

どこに入ってるか
分かるよ

みち…

ぎち…

は…

また間違えたの
でしょうか

ぴく…

あの言葉も

この感情も

ぴく

ぽた…

先生への残滓だった
のでしょうか——

そんな
思考の演算は

けれど

快楽と追憶の
雨音に

滲んでいく――

動くよ

アロナ

カッ

レ

ちゅ

！

ぱ

あ

奥まで届くでしょ

ぱんっ

ぱんっ

いっぱい突いてあげるから

ぱんっ

やっ

あっ

はっ

はっ

とんっ

とんっ

とんっ

ぐぷっ

ぐぷっ

ぐりぐりっ

ぐりっ

すっ!!

俺の事いっぱい感じて

やあ

違うんです…っ

ナデナデ

私

あ

こんな…っ

ナデナデ

ぺろぺろ

はっ

あ

ぺろぺろ

けど

すごい甘い声
出てるよ？

ジンジン

先生の声が

あ

ぱちゅっ

ぱちゅっ

あ

ぱちゅっ

ぐりぐり

ぱちゅっ

やっ

ぱちゅっ

ぐりぐり

ぱちゅっ

ぱちゅっ

ぱちゅっ

全部
受け止めて

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

ぐぐっ

ぐぐっ

ぐぐ

はー

ぎゅっ…

苦いのに

はー…

べろ…

甘くてぬるい

べろ…

ぺろ…

濁った

ぺろ…

奔流に

もう戻らない

あの日々と共に





あとがき

この度は二次創作同人誌「残光に溺れて」を
お手に取りくださり誠にありがとうございます。

今年度は第２部メインストーリーが公開されましたね。
プラナのドラマも描かれそうな気配、
そして各種画面への進出と、
当時の木戸は叫んだりジタバタしたりでした。
早く続きを読みたいような
更新が来るのが怖いような
もどかしくも贅沢感あるこの頃です。

ほんでこの本はなんちゅう終わらせ方をしよるんや
という話ですが、一応、続きを構想中です。
具体的には冬コミでもう１冊
次の夏コミで電子同時配信の総集編 兼 最終巻を１冊
という形で終わらせられたらいいなぁ…
と思っています。
来年の事を言うと鬼が笑うと言いますから
口には出さず書くに留めておきます。
（つまり次のプラナ本は速攻で総集入りとなる見込みですので
お手に取るかどうかの判断材料にして頂けましたらと…）

それでは改めまして
ここまでお目通し下さいました事に恐縮しつつ、
この本が当日無事に頒布できる事を祈って
本誌の締め括りといたします。

皆様の同人生活にご多幸のありますよう。
ご安全に！

残光に溺れて

初　版：2026年　8月15日 発行
発　行　：サークル カドヤ
oddo.888.obbo@gmail.com
作　画　：木戸可動(@kidokadoh)
表紙デザイン：satoh(@sat0ln)
邦英タイトル　loot.gd
印　刷　：有限会社トム出版

サークル

カドヤ